

愛別町火葬場建設工事
実施設計業務プロポーザル実施要領
《別 冊》

令和 5 年 4 月
愛別町

目 次

■ 愛別町火葬場建設工事計画概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
■ 施設整備の基本方針	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
■ 設計提案のテーマ	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
■ 参加表明書作成要領	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
■ 技術提案書作成要領	・・・・・・・・・・・・・・・・	5
■ 火葬場建設工事 実施設計概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	7
■ 附属資料		
現施設配置図		
現施設平面図		
地積測量図		

愛別町火葬場建設工事計画概要

1 事業内容

(1) 愛別町火葬場に関する建設工事

既設火葬場の隣に新設火葬場を建設し、完了後既設火葬場を解体し、外構工事を実施する。

なお、新設火葬場には、火葬炉 1 基を設置し、炉前ホール、待合室 1 室、トイレ等を設ける。

併せて関連する工事を行うこととする。

2 敷地の条件等

(1) 建設地 北海道上川郡愛別町字北町 301 番地 1 (令和 5 年 5 月頃分筆予定)

(2) 敷地面積等 16,915 m²

(3) 条件 延床面積 350 m²以下

主要施設 火葬部門 火葬炉 1 基 電気・機械室

待合部門 炉前ホール、待合室(1 室)、便所

駐車場 乗用車 10 台、マイクロバス 2 台、身障者用 1 台

(4) 上・下水道 上水道及び下水道は敷設済

(5) 電気 北海道電力(株)供給地域

(6) ガス L P G

3 法規制

(1) 都市計画 都市計画区域外

(2) 用途地域 指定なし

(3) 防火地域 指定なし

(4) 地域地区 指定なし

(5) 建蔽率 適用なし

(6) 容積率 適用なし

(7) その他 景観計画区域

4 総工事費(概算)

3 億 5 千万円程度

建築主体工事・電気設備工事・機械設備工事・火葬炉設備工事・外構工事・解体工事

(必要により杭工事、外構工事を含み、かつ、諸経費及び消費税相当額を含む)

5 新施設の規模・概要

(1) 構造規模 R C 造を原則とする。

(2) 所要機能 火葬炉 1 基 待合室 1 室

① 火葬機能

② 待合機能

③ 管理機能

施設整備の基本方針

火葬業務を行いながらの建設工事となるため、建設工事中の会葬者への配慮及び施設計画が必要となりますので、愛別火葬場建設工事にあたっての基本方針は次のとおりとする。

- 1 終焉の場としてふさわしい火葬場
- 2 遺族・会葬者にやさしい火葬場
- 3 公害対策・環境負荷を抑制した火葬場
- 4 周辺環境を考え良質なサービスを提供する火葬場
- 5 災害に強い火葬場
- 6 省エネルギー対策など経済性を考慮した火葬場
- 7 安全・安心・安定的な運営が可能な火葬場

設計提案のテーマ

設計プロポーザルで求める設計提案のテーマは、次の5項目とする。

- 1 人生の終焉の場にふさわしい空間づくり
- 2 周辺環境及び建設予定地に配慮した配置計画
- 3 建設コスト及びライフサイクルコスト縮減と長寿命化に配慮した施設づくり
- 4 風土になじむ火葬と火葬場のあり方
- 5 利用者に親近感と安らぎを醸し出す施設づくり

※火葬炉設備に関しては、別紙火葬炉設備要求水準書に基づいた提案書を別途提出すること。

参加表明書作成要領

1 用語の定義

- (1) 管理技術者 : 業務の管理及び統括を行うほか、業務委託契約に関する権限の内、原則として次の事項以外の権限を行使する者
次の事項以外の権限を行使する者
・委託料の変更 ・履行期間の変更 ・委託料の請求と受領
・管理技術者等に対する措置請求の受理
・管理技術者等の措置決定と通知、監督員に対する措置、請求
・監督員の措置通知の受理 ・契約の解除
- (2) 担当主任技術者 : 管理技術者の下で各担当業務分野(建築(意匠)、建築(構造)、電気設備、機械設備、解体)における担当技術者を統括する役割を担う者
- (3) 火葬場 : 火葬炉をもつ火葬場機能と待合機能(同一棟、別棟を問わない)を持つ施設。ペットなどの動物、汚物を焼却するものは含まない。

- (4) 類似施設 : 葬祭場もしくは複合施設であって葬祭場用途部分の延床面積が 300 m²以上のもの、又は寺社・教会であって延床面積が 300 m²以上のもの
葬祭場と寺社・教会の定義は次のとおりとする。
- ・葬祭場：葬儀を執り行う施設。結婚式場・同披露宴施設は含まない。
 - ・寺社・教会：祈りや儀式を執り行う宗教施設。延床面積には、庫裏、待合機能室、ホール、集会室、それらの附属室を含めることを可とする。

2 業務実施上の条件

- (1) 管理技術者は、建築士法(昭和25年法律第202号)に規定する一級建築士の資格を有していること。
- (2) 管理技術者及び建築(意匠)担当主任技術者は、参加表明書提出時点で提出者の組織と3ヶ月以上の恒常的な雇用関係があること。
- (3) 管理技術者及び各担当主任技術者はそれぞれ1名であること。
- (4) 管理技術者は、担当主任技術者を兼ねることはできないこと。また建築(意匠)担当主任技術者は他の担当主任技術者を兼ねることはできないこと。
- (5) 建築(意匠)担当業務分野は、再委託できないこと。
- (6) 設計担当の体制に協力事務所を加えることはできる。

3 参加表明書に添付する技術資料の記入要領及び注意事項

(1) 提出書類等

- ① 参加表明書及びこれに付属する技術資料は、当該様式およびその指示に基づき作成する。

- ② 参加表明書(様式1)

ア 共同企業体を構成する設計企業と火葬炉企業について明記する。

イ 設計企業が様式の記入を行うこと。

- ③ 設計企業の概要(様式2)

ア 「愛別町火葬場建設工事実施設計業務プロポーザル実施要領」Ⅲ-1(2)～(3)の参加資格を証明する書類

- ・Ⅲ-1(2)建築士事務所登録申請書の表紙及び所属建築士名簿のページの写し

- ・Ⅲ-1(3)(様式2)の1設計企業配置予定技術者の欄に記載される技術者を含む参加者所属の3名分の一級建築士免許証(写)

イ 建築事務所の受賞歴欄は、3件以内記載する。火葬場、類似施設を優先して記載することとし、用途は問わない。

- ④ 設計企業の業務実績(様式3)

ア 火葬場と類似施設の実績を記載する。(片方だけの実績でも可)

イ いずれも新築の実施設業務の実績とする。

ウ 火葬場の実績を上段に、類似施設を下段に記載する。

エ 記載した業務については契約書(表紙のみ)の写しを添付する。

- ⑤ 設計企業管理技術者の経歴等(様式4-1)

ア 「⑤火葬場又は類似施設の実績」欄は、4件以内とし、火葬場を上段に記載のこと。

イ 「発注者」欄において、再委託を受けた業務の場合は、契約相手を記入の上、()内に事業主を記入する。

ウ 「受注形態」欄は、単独又は共同企業体の内、該当のものに○印をし、共同企業体の場合は()内に他の構成員を記入する。

エ 「業務概要」欄は、火葬場・類似施設の該当するものに○印をし、用途、規模、構造、関った分担業務分野及び立場を()内に記入する。

オ 「⑥過去の受賞歴」欄は、3件以内を記載する。火葬場、類似施設を優先して記載することとし、用途は問わない。

⑥ 設計企業の自信作(様式4-2)

ア 担当した過去の作品の中で最も自信を持って紹介できるものを提示する。

イ 外観写真、内部写真又は代表階平面図(縮尺任意)を少なくとも1点掲示する。

ウ カラー印刷、構成は自由とし、A4判縦1ページに収める。

⑦ 設計企業の担当主任技術者の経歴等(様式5)

ア 「①の欄」の該当するものに○印をし、担当主任技術者ごとに別紙とする。

イ 「⑥、⑦の欄」は、建築(意匠)担当主任技術者のみ記載を要する。

ウ 「⑥、⑦の欄」は、上記⑤と同様な方法で記載する。

⑧ 火葬炉企業の会社概要及び納入実績(様式6)

会社概要及び納入実績を記載する。

⑨ 火葬場設計に当たっての取組み姿勢(様式7)

設計に向けての現時点における心構え、想い、取組み方を記載する。表現は自由とする。

⑩ 協力事務所の名称等(様式8)

業務の一部を再委託する場合は、協力事務所の名称等を記載する。

(1) 提出部数 7部

(2) 用紙サイズ等 用紙サイズはA4判縦とし、左上1箇所にはホッチキス留めとする。

(3) 取扱い

① 提出された書類は、返却しない。

② 要求された内容以外の書類、図面等は受理しない。

(4) その他

① 要求する内容を逸脱した書類を提出した場合は、失格となることがある。

② 参加資格を証明できない場合は、失格となることがある。

4 参加表明書記載内容の調査

必要に応じ参加表明者、設計協力者、火葬場・類似施設の発注者等に具体的内容を確認することがある。

技術提案書作成要領

1 仕様

- (1) 用紙の大きさ A 3判横とし、左上ホッチキス 1箇所留め
- (2) 枚数 2枚以内(表紙を除く)
 ※平面図・立面図・断面図(提案プラン)を記載
 ※裏面の記載は認めない。
- (3) 表紙 A 3判横とし、次の事項を記載(配置任意)
 - ① タイトル「愛別町火葬場建設工事実施設計業務プロポーザル技術提案書」
 - ② 提案者名(表紙以外には提案者名は入れないこと。)
- (4) 提出物
 - ① A 3判の印刷物 7部
 - ② ヒアリング時に投影する映像を記録したメディア(発表用パワーポイント) 1媒体
 - ア 技術提案書に記載されている文、作図を分割、部分拡大したものであって、改変、文・作図の追加を許さない。
 - イ プレゼンテーション用ソフト(パワーポイント)と同等のメディアを提出のこと。
 - ウ 本メディアの提出期限は令和5年6月12日(月)17時までとする。
- (5) 文字サイズ 説明文章の文字サイズは10ポイント以上とする。(図面内の文字は適宜)
- (6) 表現 自由とする。

火葬炉設備に関しては、別紙火葬炉設備技術提案書作成要領に基づいた提案書を別途提出すること。

2 記載すべき内容

- (1) 火葬と火葬場の捉え方
 - (2) 敷地位置、形状、環境等から配慮すること
 - (3) (1)と(2)からどのように設計、表現、対処するか
 - (4) 設計提案のテーマに対する考え方
 - (5) 概算工事費
 - 建築工事、電気設備工事、機械設備工事、火葬炉設備工事、外構工事等
 - その他今回の提案で示されている工事、設計費(基本設計、実施設計、設計監理)
 - 概算工事費に関しては、各社任意の様式にて提出のこと
- 火葬炉設備に関しては、別紙火葬炉設備技術提案書作成要領に基づいた提案書を提出すること。

3 参考見積書の提出(様式任意)

- (1) プロポーザル実施要領の「VI設計業務委託契約」「2設計業務概要」「(3)業務内容」に記載する業務の見積額
- (2) 同業務に関する施工監理費(建築工事)の見積額

4 取扱い

提出された書類及びデータは、返却しない。

5 その他

要求する内容を逸脱した場合は、失格とする。

ヒアリングに関する詳細については該当者に後日連絡する。

火葬場建設工事 実施設計概要

1 事業場所に関すること

(1)敷地条件

- ①所在地 上川郡愛別町字北町829番地26～30
- ②現 況 更地
- ③敷地面積 16,915㎡
- ④用途地域 指定なし
- ⑤接 道 西側：町道 本町霊園線道路 幅員8.7m (7.5+1.2)
- ⑥建ぺい率 指定なし
- ⑦容積率 指定なし

2 施設計画に関すること

(1)建物条件

- ①構 造 鉄筋コンクリート造
- ②階 数 1階若しくは2階 ※ご遺族が利用する室は1階に限る
- ③延床面積 350㎡程度
- ④主要室 管理部門 火葬炉1基 電気・機械室
利用部門 炉前ホール、待合室(1室)、便所(男・女・多目的)
- ⑤駐車場 乗用車10台、マイクロバス2台、身障者用1台
- ⑥上・下水道 上水道及び下水道は敷設済
- ⑦電 気 北海道電力(株)供給地域
- ⑧ガ ス L P G

(2)敷地条件

- ①関係法令を遵守すること。
- ②周辺環境に十分配慮した施設計画とすること。
- ③ユニバーサルデザインに配慮すること。

(3)配置計画

- ①配置計画の策定に当たっては、周辺環境等に配慮し、電波障害や風雪害等による影響を与えないよう対策を十分講じるとともに、火葬場の管理のしやすさに配慮した計画とすること。
- ②火葬場について総合的に検討して共同企業体が設定すること。

3 要求水準書について

設計仕様・要求性能は最小限又は基本の条件を示しているので、同等以上の提案を妨げるものではないこと。

4-1 設計仕様等（建築主体工事）

基本事項	1. 階数	① 階数は、2階以下とする。ただし、地階は設けないこと。 ② ご遺族が利用する室は1階に限る。
	2. 階高	① 居室の天井高は、2.3m以上とすること。ただし、梁型や設備配管によりやむを得ない部分は2.0m以上とすること。
	3. 外部の出入り口等の防寒	① 外部の主要な出入口には風除室を設けること
	4. 雨・雪の処理	① 火葬場の出入口には、霊きゅう車及びバスに棺及びご遺族の乗降の際に雨・雪に濡れないように庇を設けること。 ② 庇は霊きゅう車等の車輛通行側に雨だれが落ちないような仕様とすること。
	5. 熱源等	① 暖房 灯油（FF式石油暖房機仕様、暖房機は入居者）電気（トイレ） ② 給湯 給湯設備は設けないこと。 電気（電気ケトル・卓上用電磁調理器：備品） ※現状は、ガスコンロ・電気ケトル（備品）で対応。 ③ 電力 北海道電力(株) ④ 上下水道 愛別町 ⑤ 電話 NTT東日本(株)
	6. メンテナンスの向上	① 設備配管等の状況に適合した床点検口、壁点検口、天井点検口を設けること。 ② パイプシャフトには点検のための建具を設けること。
	7. 駐車場	① 駐車場は、乗用車10台、マイクロバス2台、車いす用1台、計13台分を設けること。 ② アスファルト舗装とし、舗装止め縁石を設けること。
専用部分	1. 正面出入口	① 建具は、引き戸とする。有効開口幅は、1.5m以上とする。 ② 風除室を設けること。
	2. 炉前ホール（告別室兼収骨室）	① 床面積は、55㎡程度とすること。 ② 遺影台は、備品とするため設置不要。
	3. 休憩・待合室	① 床面積は、45㎡程度とすること。 ② 原則、土足で使用できる仕様とすること。 ③ 小上がりを設けること。（10㎡程度とし①の内数とする。） ④ クロークを設けること。
	4. 給湯室	① 3. 休憩・待合室からの使用とすること。 ② 床面積は、3㎡程度とすること。 ③ 流し台を設けること。 ④ 電気ケトル・卓上用電磁調理器要の100Vのコンセントを設けること

5. 更衣室・授乳室	① 3. 休憩・待合室からの使用とすること。 ② 床面積は、3 m ² 程度とすること。
6. 便所	① 便所は、男・女・多目的の3室設置すること。 ② 男子便所は、手洗い、腰掛便器、小便器を各1基以上設置すること。 ③ 女子便所は、手洗い、腰掛便器を各1基以上設置すること。 ④ 多目的便所は、手洗い、腰掛便器を各1基設置すること。更衣室と兼用できるように収納型の台を設けること。
7. 物置	① 炉前ホール等の備品を収納するため内部物置を設けること。 ② 箒や除雪道具等の備品を収納するため外部物置を設けること。 ③ 床面積に占める割合は、3 %程度とすること。
8. 火葬炉機械室	① 火葬炉要求水準書の要件を満たす設備を設けること。 ② 棺運搬車・炉内台車運搬車を収納することができること。 ③ 災害時に施設を通常通り稼働できる発電機（備品）を設置すること。

4－2 設計仕様等（電気設備工事）

共通	ユニバーサルデザインについて	① スイッチの高さは、F L + 芯 1,000mm とし、ワイドタイプとすること。 ② コンセントの高さは F L + 芯 400mm とすること。
電灯設備	設置箇所	① 照明器具の種別等は提案によることとするが、各室の照度は「JIS 照度基準 Z9110-1079」を参考にすること。
コンセント設備	設置戸数及び設置箇所	① 各室 コンセント2口用2箇所、火葬炉機械室には電話用コンセント1箇所を設置すること。休憩・待合室にはテレビ用コンセント1箇所を設置すること。 ② 便所 コンセント2口用1箇所を腰掛便器の側に設置すること。手洗いの側にコンセント2口1箇所設けること。 ③ その他 必要に応じ設置すること。
電話配管	配線	① 引き込みは幹線設備と同様とすること。
テレビ受信設備	配線	① ケーブルテレビポットの配線を受ける鉄柱等を設置し、テレビ端子まで配線すること。

4－3 設計仕様等（機械設備工事）

共通	ユニバーサルデザインについて	① 給湯室の混合栓は、シングルレバー方式とすること。
衛生設備	便所	① トイレの洋風大便器（床下排水）は、節水型ロータンク方式とすること。
給水設備	1. 屋外給水設備	① 愛別町上水道を使用すること。 ② 関係法令に適合させること。 ※ 給水装置工事は、愛別町水道事業給水条例第7条に規定する愛別町指定給水装置工事事業者が施工すること。
	2. 屋内給水設備	① 給湯室、便所へ供給すること。 ② 各住戸に水抜装置を設置する。 ※ 給水装置工事は、愛別町水道事業給水条例第7条に規定する愛別町指定給水装置工事事業者が施工すること。
排水設備	設置箇所	① 事業敷地内の汚水桝へ接続すること。（雨水は除く。） ※ 排水設備工事は、愛別町公共下水道条例第7条に規定する愛別町公共下水道排水設備指定工事店が施工すること。
換気設備	配線等	① 炉前ホール、休憩・待合室、給湯室、更衣室・授乳室、便所には、換気設備を設けること。 ② 換気扇、排気口等には外部にアルミセルフード（防虫網付）等を設けること。
消防設備	① 消防法関係法令に適合すること。	

5 関係法令等

（１）遵守すべき関係法令は次のとおり。

- ①建築基準法（昭和25年法律第201号）
- ②消防法（昭和23年法律第186号）
- ③電波法（昭和25年法律第131号）
- ④北海道建築基準法施行条例（昭和35年北海道条例第33号）
- ⑤住宅の品質の確保の促進に関する法律（平成11年法律第81号）
- ⑥その他、本事業に関係する法令

（２）設計及び施工を行うに当たり参考にすべき基準等

公共建築工事標準仕様書

建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編

最新版監修 国土交通省大臣官房官庁営繕部編集（社）公共建築協会